

平成30年度 「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」合同ワークショップ テーマ別ルール一覧
 テーマ1 「ネットいじめ」

事前に自分が信用できる人を作っておき、つらくなる前に相談して気持ちを軽くしよう。
いじめを見つけたら信頼できる友達と一緒に身近な大人に相談する。
相手の許可なく写真の投稿はしない！個人を特定できるような誹謗中傷はしない。
いじめを少なくするために、悪口に共感せず、悪口を言っている人を注意する。
いじめを見つけたら、先生や友達など複数の人に相談していじめを早い段階で終わらせ、結果的にいじめを減らしていく。
第三者に相談して心の負担を軽減する。ゲームではあおらない。
悪口を言われたら友達に相談して、気にしないようにポジティブな人になる。
悪口を書かれた時は似たようないじめにあった友達に相談する。
悪口は人の目に触れないようにフォロワーゼロのかぎアカウントでつぶやき、ストレスを発散する。

テーマ2 「ネット上で知り合った人に会う」

人通りの少ない場所、知らない場所には行かず、メールの対応で判断して自分一人では会いにいかない。
相手の顔、年齢、性別、名前、目的が分かっているだけでいい。
必ず保護者に相談すること。一人では絶対に会わない。
趣味が同じで信用できそうな人ならOK。ただし、友達や家族と一緒にイベントの時だけ会う。また、防犯グッズを必ず持ち歩く。
ツイッターで知り合って、相手の年齢や名前などが本当だとわかったら会ってもいいけど、会うときは1人じゃない時に人通りの多い場所で会う！
人が身近にいて、会場などの現地集合ならOK
同性で同じ目的を持っている人ならOK
大きなイベントでは会っても大丈夫だけど、深く関わり過ぎない。
会う前にその人のTwitterを見て（プロフィール、アップしている写真）、会話をして相手を探ってからなら会ってよい。

テーマ3 「ネットへの写真・動画の投稿」

投稿する際は、写っている人に許可をとり個人情報が入っていないことを確認した上で投稿する。ただし、顔写真は悪用されやすいのでスタンプなどで顔を隠してから投稿する。
相手に許可をとって、住所が特定されないものを投稿。
個人情報流出を防ぐため、余計なところにはモザイクをかける。法に触れるような炎上しかねないもの、相手の許可のないものは投稿しない。
目的をはっきりさせ、本人の許可をもらってある写真や動画をLINEグループに投稿する。また、無理に許可をとらないこと。
写っている人の了承を得たものなら投稿してよい。ただし、顔や住所などを写さないこと。もし、写ったら加工するなど工夫して投稿する。
相手が不快になるもの、自分の身が危険にさらされるもの、法律に触れるものは載せない。
自分だけが写っていて、周りの人の迷惑にならず、自分がOKなもの（自己責任で！）
写っている人の許可があれば投稿しても良い。住所などの身元の分かるものは隠す。
Twitter、インスタに人の写真を載せるときは許可をとる。Youtube、tiktok、ニコニコ動画に自分の作品を載せるのはいいが、学校、家族に迷惑をかけないようにする。